

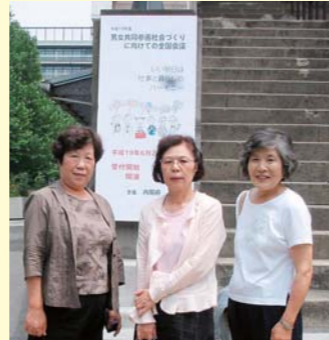
実現する?



6月29日(金)日比谷公会堂で『仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けて』をテーマとして、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」が開催されました。

シカゴ大学の山ロー男教授の基調講演では、ワーク・ライフ・バランス(WLB)社会に向けた重要な6つの視点が示されました。

- 1 出産できるのは女性のみ。しかし、育児には、男性(夫)、政府、雇用主、コミュニティのサポートが必要。
- 2 夫婦の役割分業は、お互いが対等な立場で自由に決めることが大事。
- 3 WLBには「柔軟に働ける職場環境」が必要であり、これは女性のみならず、男性にとっても必要なことである。
- 4 企業は、仕事と家庭の両立度の高い社会にしていくことに貢献する責務を認識することが重要。
- 5 WLBは、企業にとってコスト・負担になると思われがちだが、米国などの研究では、WLBで労働生産性が向上し、欠勤が減少したケースが多い。
- 6 人々は、WLBでより高い満足度を感じると言われているが、WLBとは、自らの創意と工夫で仕事や生活の質を高めることによって、初めて有効となるものである。



土曜も開設しています! 女性のための悩み相談

夫婦や家族の問題、パートナーからの暴力などで悩んでいませんか? 一人で悩まず、まずは相談してください。

- 相談日
 - 毎月第2、第3、第4火曜日
 - 第1土曜日(7月~12月のみ)
- 相談時間
 - 午前10時~正午、午後1時~3時
- 相談形態
 - 電話相談 ☎83-1812(専用電話)
 - 面接相談 事前予約制

予約問合せ 市民自治振興課 ☎82-5118

※DVなど緊急の連絡は、☎83-0110 秦野警察署生活安全課

男女共同参画週間

啓発活動実施

6月24日(日)梅雨時の小雨降る中、ジャスコ秦野店前で男女共同参画週間に合わせ、啓発活動を実施。クリアホルダーにポケットティッシュ、チラシを封入したものを500部配布しました。

男性、女性がお互いにその人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指しましょう。



編集後記

ツバメのひなが巣立ち、紫陽花が咲き、せみが鳴く。季節の移ろいを感じながら編集に向かう。『ワーク・ライフ・バランス』この言葉と趣旨を、一人でも多くの人に伝えたいという思いを込めて、情報を発信します。

パートナー

PARTNER

主な内容

- 仕事と暮らしのバランス、取れていますか?
- はだの男女共同社会フォーラム 2007
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議
 事務局 秦野市役所暮らし安心部市民自治振興課市民活動支援班
 秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-5118 FAX.0463-82-6793
 E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp

仕事と暮らしのバランス、取れていますか?

生活

睡眠

「生活のために仕事」をしていますか?
 「仕事のための生活」になっていませんか?
 自己実現のためや出世のために仕事をしているという意識の方もいるでしょう。また、経済的に安定して、健やかで豊かな生活をするために仕事をしている人もいます。

1日は24時間しかありません。睡眠、仕事、生活の配分はうまくいっていますか?
 その配分が崩れた状態が長く続くと、健康を害したり、人間関係のすれ違いが出始めたりします。

私たちは、「今、頑張らなくて、いつ頑張る?」「自分が頑張らなくて、誰が頑張る?」と思いがち。ここで一度、肩の力を抜いて一緒に深呼吸してから「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」について考えてみましょう。

あなたの大切なパートナーは、大丈夫?

仕事